

## 住職の写真日記より【令和5年12月】

今年も1年が終わろうとしています。予定していた法要・行事等も無事に勤める事が出来てホッとしています。来年もコロナ前の形にさらに近づけたらと願っております。年末、全く雪がありませんがこのまま年越しできたらいいな。ご愛読ありがとうございました。



2日 初めての七條袈裟

純正が中仏の報恩講で着用。七條袈裟は背が高くないと似合わないので、私は残念ながら似合わないです。



10日 BS餅つき

総代の山田文雄さんが自作してくれた臼で初めて餅つきをしました。本当にありがとうございました。感謝



16日 大谷ドジャースへ

スゴイ年俸でしたが、本人は金額ではなくて、優勝できそうなチームを選択したんでしょうね。



3日 北海道でオーロラ

美幌町にて。観られるんですね。ちなみに北欧のオーロラとは色が違うそうです。リアルタイムで見てみたいです。



12日 カレンダー発送

坊守の友人たちに発送作業をお願いしました。大勢来ててくれて本当にありがとうございました。助かるなー。



8日 またとても大量の魚

8月のオホツクのエビに続いて、今度は函館でイワシ大量死。ホントにもったいない事ですね。



13日 今年の漢字「税」

そうなんですねー。来年は30年ぶりに郵便料金も上がるみたいですね。いろいろと家計も大変ですね。



23日 天皇誕生日

上皇様90歳に。ホントにお元気で何よりです。ちなみに、昭和天皇は満87歳で亡くなられてるんですね。

## 坊守の独り言

令和6年がスタートしました。本年もようしくお願ひいたします。年末、千正寺の本家（富山県）のお寺から一通のお手紙が送られてきました。

本家のお寺とは年賀状のやり取りしかなく、面識もない本家のお寺からの手紙ですので開封するのもドキドキでした。内容はお寺の家系図を作成しているので千歳の家系図を教えてもらいたい。という書面で寺院開基の明和5年（江戸時代）から現在（令和6年）12代目に続く家系図が書かれていて、断片的ですが歴史の中で生き抜かれた形跡も垣間見ることも出来、とても興味深いものでした。

明和は江戸時代1764年～1772年の250年前に浄土真宗のお寺として歩み始め、各地に枝分かれしながらも歩み続けていることを感じることも出来ました。千正寺の歴史は息子が5代目ですのでまだまだ「ひよっこ」ですが深く長い根があって支えてもらっている事や「ご先祖様って大事だな」と改めて今回の家系図を通して学ぶことも出来ました。

みなさんも月参りやご法事を通してご先祖様を敬い、大事にしてあげて下さい。